

# 関西弁で読む

# 遠野物語

畑中章宏 著

四六判 本体一四〇〇円十税

町田康氏推薦！

「読んでるっていうより  
聴いてる感じ。ええ感じ。  
ええ感じの『遠野物語』」

## 兵庫出身の柳田國男がもし現代に蘇ったとしたら？

民俗学への第一歩、入門書でもある「遠野物語」。著者である柳田國男が「自らの民俗学の原点」と評した生家は、兵庫県福崎町にあります。東北の逸話や伝承を記した「遠野物語」で知られる柳田は、実は関西出身(12歳で茨城へ)だったのです。

興味はあるけれど難しそう…、何度読んでも挫折してしまう…という人たちに。

同じく関西出身、新進気鋭の民俗学者・畑中章宏氏が、関西弁でわかりやすく「遠野物語」を解説する書籍です。

思わず声に出して読みたくなる、リズムの良い『関西弁で読む遠野物語』です。

### ■遠野物語

岩手県遠野地方に伝わる逸話・伝承などを記した説話集。遠野地方の土淵村出身の民話蒐集家であり小説家でもあった佐々木喜善より語られた、遠野地方に伝わる伝承を柳田が筆記・編纂する形で明治43年(1910年)に出版された。

### ■畑中章宏 (はたなか・あきひろ)

民俗学者。『災害と妖怪』(亜紀書房)、『ごん狐はなぜ撃ち殺されたのか』『蚕』(晶文社)、『『日本残酷物語』を読む』(平凡社新書)、『天災と日本人』(ちくま新書)、『21世紀の民俗学』(KADOKAWA)、『死者の民主主義』(トランスビュー)など著作多数

たしかな証拠はあらへんけど、体じゅうが真っ赤で、口が大っきい、ほんまにいやな感じ子どもやっただけ言います。あんまり忌わしいさかい、「捨ててまお」と思て、道ちがえに持ってって、そこに置いて一間ほど離れてみてんけど、  
「やっぱし惜しいかもしれへん。どっかに売って見せ物にしたら、金になるんとちゃうやろか」  
て思い直してん。

——『河童』より

ご注文は(株)大龍堂書店販売部まで

**FAX:075-231-2533**

刊行予定日  3/27(金)

貴名	冊数	エクスナレッジ
ご担当者様	冊	<h2>関西弁で読む遠野物語</h2> <p>畑中章宏 著 四六 1C 並製 約250頁 定価: 本体1,400円+税 ISBN 978-4-7678-2726-1</p>